

屋内活動

プログラム名（コース名）	屋内キャンプファイヤー			
概要	仲間と疑似炎を囲み、火の大切さを学ぶ。スタンツやゲーム等を通して絆を深め、心の交流を深める。			
ねらい	友と語り、友を知り、自分を知ることができる。疑似炎を通して、火の大切さ、芯の強さ、やさしさ、温かさを再認識することができる。スタンツ等のグループ活動を通して、仲間意識を養うことができる。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～100人程度（2人以上）
	活動時間	90分～120分	活動時期	通年
	活動場所	体育館・各研修室	費用	600円
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）飲料、軍手（井桁を組む研修生のみ） （団体）スタンツに必要なもの （貸出）衣装（3人分）、うちわ・杖、アンプ、CDラジカセ、キャンプソングCD（収録曲は手引きに記載） 延長コード、井桁セット、ビニールシート（緑色）、ランタン（献詞者用）×9、単4電池、ランタン（御子用）×3、単3電池、片付け用具			
安全上の留意点 （対策方法）	暗闇での転倒、接触 スタンツ中のケガ（活動範囲を考慮し、無理なスタンツ構成をしない） 井桁を組む時に太薪のささくれが刺さらないように注意をする			
<b>活動内容（手順）</b>				
事前①指導者配置の決定：活動指導（準備、進行、火の神などの役割分担を決定）、巡視指導（活動中の研修生の補助や指導・助言） ファイヤーキーパー（活動に応じて灯りの調整）準備/片付け（当日準備/備品の返却、活動場所の原状復帰） ②下見の実施：研修生の動線及び活動場所の確認 ③実施方法の決定：第1部から第3部までの流れや休憩時間、全員で合唱する歌等の決定（進行の不明点は要相談） ④グループ編成：活動内容に応じて、スタンツを行うグループ等編成 ⑤研修生への事前指導：「内容」「ねらい」「安全上の留意点」等の指導、持ち物の確認				
活動前①打合せ：16：00頃、事務室前で所員と団体責任者、担当指導者にて実施 実施判断：団体責任者と協議の上決定 確認事項：人数、健康状態、貸出備品 備品をすべて持って活動場所へ移動 ②準備：活動スペースの確保、活動場所にビニールシートを敷く、施設設備・コンセントの位置等を所員とともに確認 片付けの説明：道具類、ビニールシートの片付け、貸出備品の返却、活動場所の原状復帰について所員とともに確認				
活動①活動場所へ移動 ②活動開始：第1部→第2部→第3部 ③確認事項：人数、健康状態 ④報告：指導者は所員へ活動終了、研修生の健康状態を報告 ⑤片付け（片付け担当）：活動場所のビニールシート、原状復帰、備品の片付け、貸出備品の返却と確認				

〈その他〉

※雨天時に実施する場合スタンツは、晴天時の活動（キャンプファイヤー）の内容と併用可。

・当日の準備（活動前①②）は研修生の屋内キャンプファイヤー係も指導者とともに参加